

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先	3415
部 名	建築部	課 名	住宅課		課長名	石井 敏郎
事務事業名	(仮称) 市営大野台住宅整備事業					
予算上の事務事業名	(仮称) 市営大野台住宅整備事業 (継続費)					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	24221		
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政策名	第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します					
基本施策名	第2節 良好な住まいづくりの推進					事業開始年度
施策名	第2施策 良質な住宅の供給					平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	公営住宅法、相模原市市営住宅条例、相模原市住宅基本計画					
3 個別計画の概要			概要			
計画名	相模原市住宅基本計画		本市の借地世帯の居住水準の状況や市営住宅の整備・応募状況を踏まえ、市営住宅の計画的な供給を図る。平成22年度目標管理戸数：3,044戸			
計画年次	10	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分	▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)	
住宅基本計画に基づき、自力では住宅の確保が困難な所得の低い世帯に対して、計画的な市営住宅の供給を図る。 計画戸数：62戸				住宅に困窮する所得の低い方		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。						
平成17年度～平成18年度の継続事業 総事業費 743,000千円 平成17年度 83,000千円 平成18年度 660,000千円						
6 関連・類似事業や他市の状況						
県下主要都市の市営住宅管理戸数等 (平成16年4月1日現在)						
市 名	横浜市	川崎市	横須賀市	藤沢市	相模原市	
戸 数	27,951	16,635	3,956	1,711	2,176	
世帯数	1,472,236	582,124	163,376	158,613	252,039	
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
事業費	7,969	13,650	83,000	660,000	0	
一般財源	0	25	9,121	61,750	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	7,969	13,625	73,879	598,250	0	
人件費の合計	1,602	3,228	8,050	5,367	0	
事業コスト合計	9,571	16,878	91,050	665,367	0	
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (または、主たる事業名)	市営住宅整備事業			対象名称 と単位	年度別応募者数当たり	
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
事業コスト(主たる事業)	9,571	16,878	91,050	665,367	0	
対象数	1,660	1,196	1,308	1,308	0	
単位あたり経費(円)	5,766	14,112	69,610	508,690	#DIV/0!	
前年度比		2.45	4.93	7.31	#DIV/0!	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	当該事業の整備戸数	指標式と指標の説明	年度毎の（完成）整備戸数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	62.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	当該事業の整備戸数	指標式と指標の説明	年度毎の（完成）整備戸数の累計		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	62.0	62.0	62.0	62.0	0.0
目標達成度（%）	0.0	0.0	0.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		当該事業は、計画どおり進捗しており、効率性・有効性等も高く、引き続き着実な整備に努めて行く。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 今後も、建設コストの削減策として、建具等の既製品使用等、設計の標準化を図る必要がある。			14 課題として認識されたこと 平成17・18年度の継続事業で、当該事業も平成18年度で完了年度となる。特になし		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			